

[SDロガー4]

DTMCHostの使い方

— SDロガーのコンフィギュレーションとアップデート —

2020年6月20日 株式会社データ・テクノ(改1版)<Ver1.06 対応>

2019年2月12日 株式会社データ・テクノ

■■ 始めに ■■

SDロガーは、ディップスイッチ設定以外に、パソコンとシリアルケーブルで接続し、設定を変更(コンフィギュレーション)することができます。

またお客様のお手で、内部プログラムをアップデートすることができます。

このマニュアルは、それら方法について述べます。

設定変更、アップデートを行なう手順は、概ねつぎのとおりです。

1. SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost) (パソコンソフト)をご用意ください(弊社Webサイトからダウンロードできます)。
2. ロガーと、パソコンのシリアルポートを、クロスケーブルで接続してください。
シリアルポートが無い場合は USB シリアルアダプターをご使用ください。
3. ロガーのディップスイッチを設定し、コンフィギュレーションモード、またはアップデートモードにしてください。
4. ロガーからはカードを抜いて電源を入れてください。
5. 設定・アップデート用ホスト(DTMCHost)を起動し、実行してください。

■■ 接続 ■■

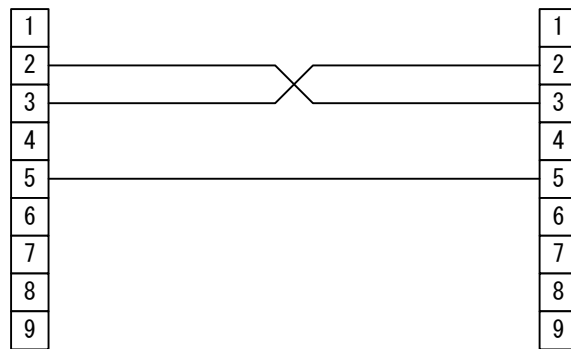
ロガーのD-Sub9ピンコネクタと、パソコンのシリアルポートコネクタを、クロスケーブルで接続してください。

クロスケーブルに必要な最小限の配線は、つぎのとおりです。

出力同士が衝突しないようにご注意ください。

ロガーのD-Sub9ピンの信号入出力は、取扱説明書をご参照ください。

おそらくは市販されている一般的なクロスケーブルが、ご使用可能です。



■■ SDロガー設定用ホスト ■■

つぎに示すSDロガー設定用ホストを、ご使用ください。

インストール作業は特に必要ありません、ダウンロードした「DTMCHost.exe」を適切なフォルダに置き、ダブルクリックなどで起動してください。

実行には、「.NET Framework 4.5」以降を必要とします。

「.NET Framework 4.5」は、Windows Vista 以降にインストールすることができ、Windows 8 以降にはプレインストールされています。

SDロガー設定用ホスト

DTMCHost.exe

■■設定項目■■

設定変更できる項目は、つぎのとおりです。

項目	選択肢	
機能	スクリプト版	
	コマンド版	
データビット ※1	8[ビット]	
	7[ビット]	
ストップビット ※1	1[ビット]	
	2[ビット]	
ビットレート ※2	300[bps]	
	1,200[bps]	
	2,400[bps]	
	4,800[bps]	
	9,600[bps]	
	19,200[bps]	
	38,400[bps]	
	57,600[bps]	
	115,200[bps]	
	230,400[bps] ※3	[V398X 以降対応予定]
フロー制御	RTS によるフロー制御を行なわない(DISABLE)。	
	RTS によるフロー制御を行なう(ENABLE)。	
自動クリア	通信エラーの自動クリアを行なわない。	
	通信エラーの自動クリアを行なう。	
古いファイルの自動削除	自動削除を行なわない。	[V396X 以降対応]
	自動削除を行なう。上限ファイル数。	
ログファイル名	昇順。	[V396X 以降対応]
	日付時刻に伴う。	
ブザー	ブザーを鳴らす(SOUNDS)。	[V396X 以降対応]
	ブザーを鳴らさない(DISABLE)。	

※1:ディップスイッチ 6 が ON の場合

※2:ディップスイッチ 1~3 がすべて ON の場合

※2:V396X 以前のベーシック版に設定しても、115,200bps となります。

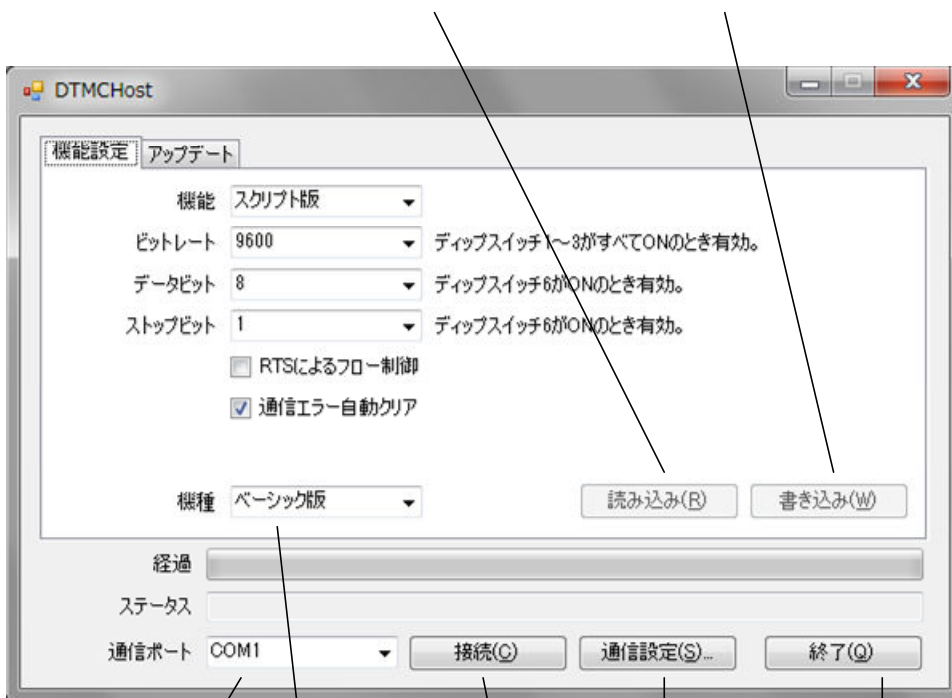
■■設定変更(コンフィギュレーション)■■

ロガーのディップスイッチ7をONにし、コンフィギュレーションモードにしてください。
カードを装着していない状態にしてください。カードが装着されているとコンフィギュレーションモードになりません。
9, 600bps、データ8ビット、パリティなし、ストップビット1で行なう場合は、つぎのような設定になります。

ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、ロガーからカードを抜いて電源を入れてください。
ロガーはこのときコンフィギュレーションモードになり、黄LED(LED2)が、速い点滅をします。
SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost.exe)を起動し、つぎの手順で設定変更を行なってください。
※画面は旧バージョンですが、操作は同様に行えます。

⑤設定値がロガーから読み込まれます。⑥ロガーに設定値が書き込まれます。



- ①通信ポートを選択します。 ②機種を選択します。 ③通信ポートと接続します。 ④通信設定が変更できます。 ⑤設定値がロガーから読み込まれます。 ⑥ロガーに設定値が書き込まれます。 ⑦プログラムが終了します。

①通信ポートの選択

プルダウンメニューの中から、使用する通信ポートを選択してください。
通信ポートの選択は、プログラムを終了しても記憶されています。
接続中は、通信ポートの変更はできません。

②機種を選択

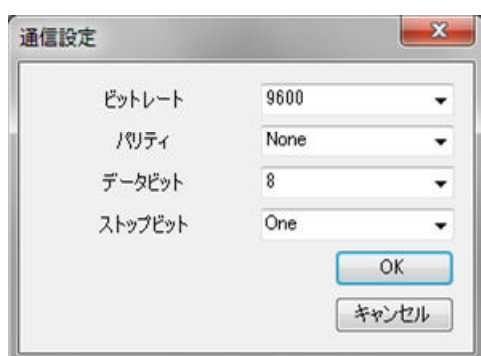
プルダウンメニューの中から、対象機種に該当するものを選択してください。
機種を選択は、プログラムを終了しても記憶されています。
接続中は、機種の変更はできません。

③通信ポートの接続

[接続(C)]ボタンを押し、通信ポートを接続してください。
接続中に押すと、接続が切断されます。
プログラム起動時に(接続可能な場合は)自動的に接続されます。

④通信設定

[通信設定(S)...]ボタンを押すと下記ダイアログが現われますので、通信ポートに関する設定を行なって下さい。
接続中は、通信設定は変更できません。
通信ポートの選択は、プログラムを終了しても記憶されています。



⑤設定値の読み込み

[読み込み(R)]ボタンを押すと、ロガーから設定値が読み込まれ、表示されます。

読み込み中は、経過欄に進捗が表示されます。
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

⑥設定値の書き込み

[書き込み(W)]ボタンを押すと、表示されている設定値がロガーに書き込まれます。

書き込み中は、経過欄に進捗が表示されます。
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

⑦プログラムの終了

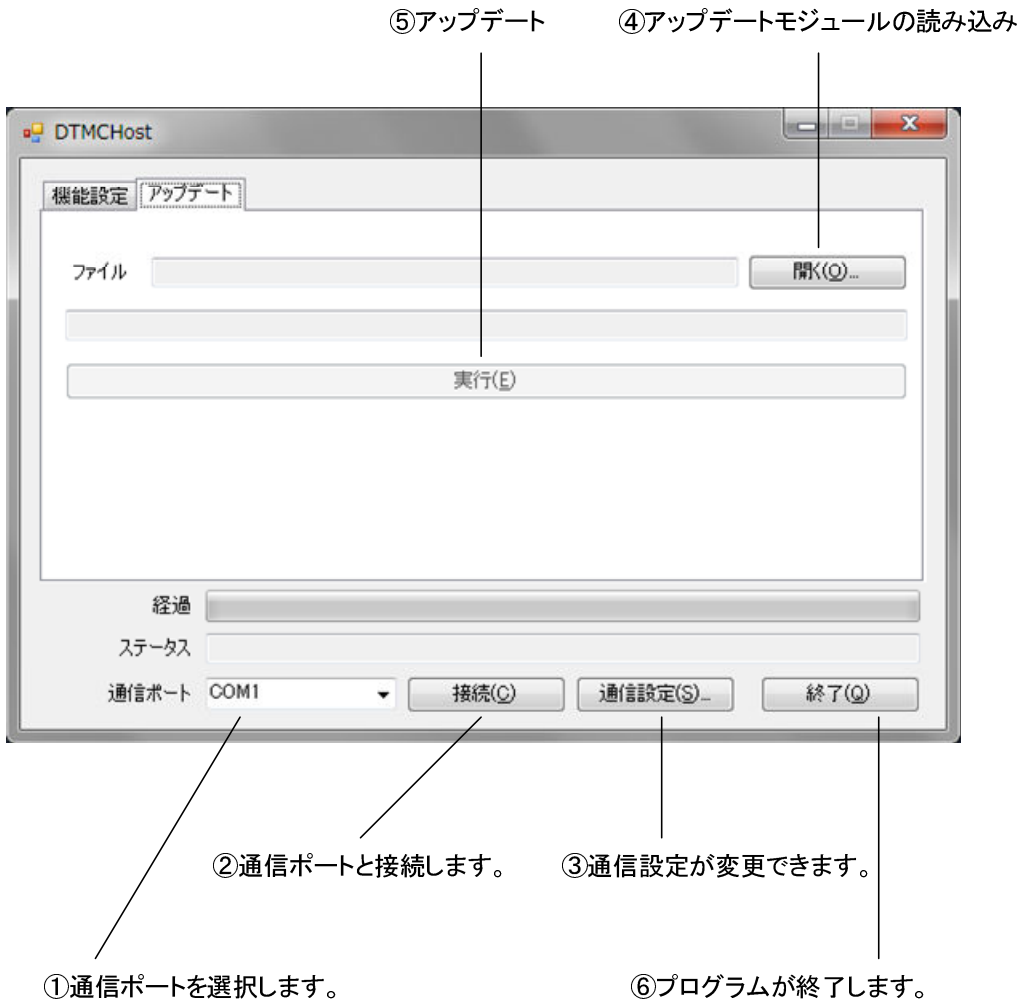
ロガーの電源を切り、専用ソフトを終了させ、ケーブルを外してください。
ロガーのディップスイッチを、通常の状態に戻してください。
行なった設定は、つぎにロガーの電源を入れたときから有効になります。

■■アップデート■■

ロガーのディップスイッチ7, 8をONにし、アップデートモードにしてください。
カードを装着していない状態にしてください。カードが装着されているとアップデートモードになりません。
115, 200bps、データ8ビット、パリティなし、ストップビット1で行なう場合は、つぎのような設定になります。

ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、ロガーからカードを抜いて電源を入れてください。
ロガーはこのときアップデートモードになり、赤LED(LED3)が、速い点滅をします。
SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost. exe)を起動し、つぎの手順でアップデートを行なってください。



①～③、⑥は前述「設定変更(コンフィギュレーション)」(①、③、④、⑦)を参照してください。

④アップデートモジュールの読み込み

[開く(O)...]ボタンから、ダウンロードしたアップデートモジュール(拡張子 fu2)を読み込んでください。

⑤アップデート

[実行(E)]ボタンを押して書き込みを開始してください。
アップデートが開始され、経過欄に進捗が表示されます。
ステータス欄に「正常」が表示されれば終了です。
エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

■■そのほか■■

SDロガー設定・アップデート用ホスト(DTMCHost)は、弊社製品適合機種の設定変更・アップデートを行なう目的のみ、無償でご使用いただけます。

その他の目的には、ご使用にならないようにお願いいたします。

株式会社データ・テクノ

京都市下京区西七条東御前田町48番地

〒600-8898 TEL:(075)313-3275 FAX:(075)314-0576

<http://www.datatecno.co.jp/>

・本取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。